かみかすや　あきやまかみいせき
上粕屋・秋山上遺跡

伊勢原市№74

調査期間　2017 年 4 月1日～継続中
所 在 地　伊勢原市上粕屋
時　　代　近世、中世、奈良・平安、縄文、旧石器
調査原因　国土交通省による厚木秦野道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
遺跡位置　小田急小田原線伊勢原駅の北西約 3 kmの上粕屋扇状地扇央部に位置する。

主な調査成果

本調査地は、市道 87 号線の西側に南北に細長く伸びる調査区で、平成 28 年 9 月から新規に開始され、調査区を徐々に北側に拡げながら 2018 年度も継続して調査を行っています。

奈良・平安時代では、竪穴住居と掘立柱建物、焼土と炭化物を埋納した墓壙と考えられる土坑群が検出されました。H4 号住居は焼失住居と考えられ、床面直上から多くの遺物が出土しています。遺構の時期は概ね 8 世紀初頭から 9 世紀と比定されます。

縄文時代では、後期前半の配石群と敷石住居が多数重なり合って検出されました。その他、列石を持つ中期後半の竪穴住居も確認されています。

旧石器時代は、2 枚の文化層を検出しています。第一面（Ｌ１Ｈ層）では、槍先形尖頭器の製作遺跡と考えられる遺物集中が、その約 50cm 下層に広がる第二面（Ｂ１層）では、ナイフ形石器、剥片等のブロックと小規模な礫群が検出されています。

立石を伴う J15 号竪穴住居（南西から）

J6 号環礫方形配石遺構（西から）

J18 号竪穴住居跡（西から）

旧石器時代 L1H 層遺物出土状況（西から）